入浴用車椅子

BWC-100

取扱説明書

●このたびは、お買い上げいただき、まことにありがとうございます。

正しく安全にお使いいただくため、ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みください。

●「取扱説明書」は

・１部を現場用として、常に参照できる状態を保ってください。

・１部を保存用として、大切に保管してください。

01-215①P3

用 途

本製品は、当社車椅子式入浴装置専用の車椅子です。組み合わせて使用することで、搬送から入浴作業を安全に効率よく行うことができます。

特 長

●チルト機構を採用

チルト機構の採用により、前ずれを防いで安定した姿勢で入浴できます。

●スムーズなアプローチを実現する上下一体式

車椅子は分離しない上下一体式を採用しており、入出浴時のショックが少なくスムーズなアプローチを実現しています。

●安心・安全の対面入浴式

介助者が入浴者を常に確認しながら、安全に浴槽内に進入する対面方式を採用しています。

ご使用になる前に

安全上のご注意

本製品を安全に正しくご使用していただくために、各注意事項をよくお読みのうえ、必ずお守りください。

表示について

危険や損害の程度を以下に区分し、表示しています。

⚠ 危険	取り扱いを誤ると、**「死亡または重傷を負うことに至る」**ことを示しています。
⚠ 警告	取り扱いを誤ると、**「死亡または重傷を負う可能性が想定される」**ことを示しています。
⚠ 注意	取り扱いを誤ると、**「傷害または物的損害の発生が想定される」**ことを示しています。

絵表示の意味

⊘ 禁止	行為を禁止することを示した表示です。
❶ 強制	必ず実行していただくことを示した表示です。

ご使用になる前に／安全上のご注意

車椅子上での作業

⚠警告

移乗のときは、車椅子後輪の浮きに気をつける
座面に浅く座ると、車椅子後輪が浮き、入浴者が落下する恐れがあります。

入浴者をフットレストの上に立たせない
車椅子後輪が浮き上がり、転倒の恐れがあります。

⚠注意

入浴用車椅子上での洗髪・洗身作業時の入浴者の転倒や落下に気をつける
・狭い入浴用車椅子上での洗髪・洗身作業は入浴者の転倒や落下の恐れがあります。
・体位変換作業は、介助者の方向へ抱き寄せるようにして、入浴者の落下を介助者が体で防止しながら十分注意して作業を行ってください。
・頭部に無理な力をかけたり、足を持ち上げたりすると転倒や落下する恐れがあります。

車椅子との接触に気をつける
入浴者の搬送用の車椅子からの移乗のときや、立たせた後に車椅子を移動させるときに、接触で思わぬけがをする恐れがあります。

車椅子の移動

⚠警告

車椅子を移動するときは、浴室の排水溝蓋の隙間等に気をつける
キャスターが隙間等に挟まると、車椅子が傾いたり、転倒したりする恐れがあります。

⚠注意

車椅子を移動するときは、周囲に注意する
周囲の他の入浴者や障害物にぶつかり、けがをする恐れがあります。

車椅子との接触に気をつける
入浴者の移乗のときや、車椅子から立たせた後に車椅子を移動させるときに、車椅子との接触で思わぬけがをする恐れがあります。

ご使用になる前に／安全上のご注意

マット

⚠注意

マットの損傷に注意する
破れや、マット止めピンの破損がある場合は新しいものと交換してください。損傷により思わぬけがをする恐れがあります。

入浴作業前に全てのマット止めピンが確実に取り付けられていることを確認する
完全に取り付けられていないと、マット止めピンがマットから浮き出し、入浴者がけがをする恐れがあります。また、入浴中にマットが外れる恐れがあります。
マットを固定できない場合は新しいものと交換してください。

マットは、高温による変形に注意する
高温（60℃以上）の湯で洗い流すと変形する恐れがあります。

マットは日陰干しにて乾燥する
直射日光で乾燥させると劣化が早まります。

安全ベルト

⚠警告

安全ベルトを外したときには、入浴者のそばから絶対に離れない
移乗などのためにやむを得ず外した場合、落下する恐れがありますので、とっさの対応が出来るように入浴者のそばから離れないでください。体位変換後や移乗後は直ぐに安全ベルトを再装着してください。

安全ベルトの長さは入浴者に合わせ、適切な長さに調節する
ベルトがゆる過ぎるなど固定が適切でないと、身体がずれて落下する、ベルトの端面やバックルで擦れてけがをする等の恐れがあります。

⚠注意

皮膚の弱い入浴者の場合、接触部分にタオル等を使う
皮膚が薄くなり、弱くなっている入浴者の場合には、安全ベルトやマット等への軽微な擦れで皮膚が傷つく恐れがあります。入浴中や入浴後はさらに皮膚が柔らかくなって、けがをしやすくなりますので接触部分にタオル等を巻いてください。

安全ベルト・バックルの損傷に注意する
安全ベルトの固定力が低下すると、入浴者が落下する恐れがあります。
またほころびた部分や破損した部分で皮膚が傷つく場合があります。ほころび始めたり、
破損しかかったりしたときは新しい安全ベルト・バックルと交換してください。

各部の操作

⚠警告

停止しているときは、必ずキャスターをロックする
キャスターがロックされていないと、移乗・洗身・清拭時などに車椅子が動いて入浴者が落下する恐れがあります。

傾斜のきつい浴室床面や排水溝蓋上に停止しない
キャスターが滑って車椅子が転倒し、入浴者が落下する恐れがあります。

車椅子に乗せたら、必ず手すりを握らせ、ひじを手すりの内側に入れ、安全ベルトを使用する

- 握っていないと上肢が車椅子の外側に出てけがをする恐れがあります。握れない入浴者の場合には上肢を保持するベルトなどを用いるなどして、上肢が車椅子の外側に出ないようにしてください。
- ベルトをしなかったり、ベルトをゆるめ過ぎるなど固定が適切でないと、身体がずれて落下したり、ベルトの端面やバックルで擦れてけがをする恐れがあります。

チルト操作はゆっくりと行い、必ずロックを確認する

- 勢いよくチルトを倒したり、起こしたりすると入浴者にショックをあたえる恐れがあります。
- チルトの操作中に手を離さないようにしてください。
- 勢いよくチルトを起こすと、前傾し転倒する恐れがあります。

⚠注意

手すりに無理な力をかけない
ロックを解除しないで無理に手すりを跳ね上げようとしたり、手すりを持ち上げて車椅子を移動させようとしたりすると、破損する恐れがあります

手すりを操作する際は、周りに障害物等がないことを確認する
破損やけがをする恐れがあります

各部の操作

⚠注意

ヘッドレストの高さ調節はゆっくりと行い、必ずロックを確認する
ロックされていないとヘッドレストの高さが急に変わり、
入浴者にショックをあたえる恐れがあります。

ヘッドレストを下げるときは、必ずヘッドレストを持って支える
ヘッドレストを持たずに調節ノブを緩めると、
急に下がって思わぬけがをする恐れがあります。

浴槽に進入するときは、必ずチルト状態にする
チルトしないで車椅子を浴槽に進入させると、車椅子のフレームが浴槽に当たり
浴槽が破損します。

タワシやブラシは使わない

研磨材がついたスポンジや、ネットに包まれたスポンジは使わない

入浴剤・保湿剤

⚠注意

ミネラルオイル（流動パラフィン）が含まれた製品を使用しない
ヘッドレストに付着すると、シワが発生します。

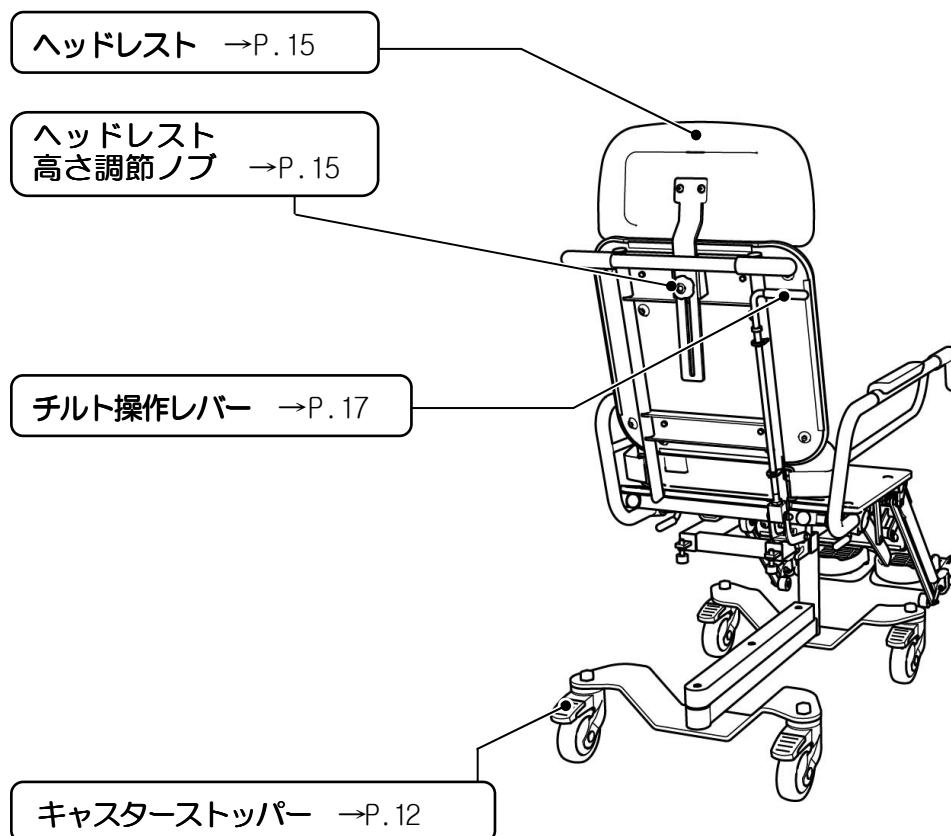
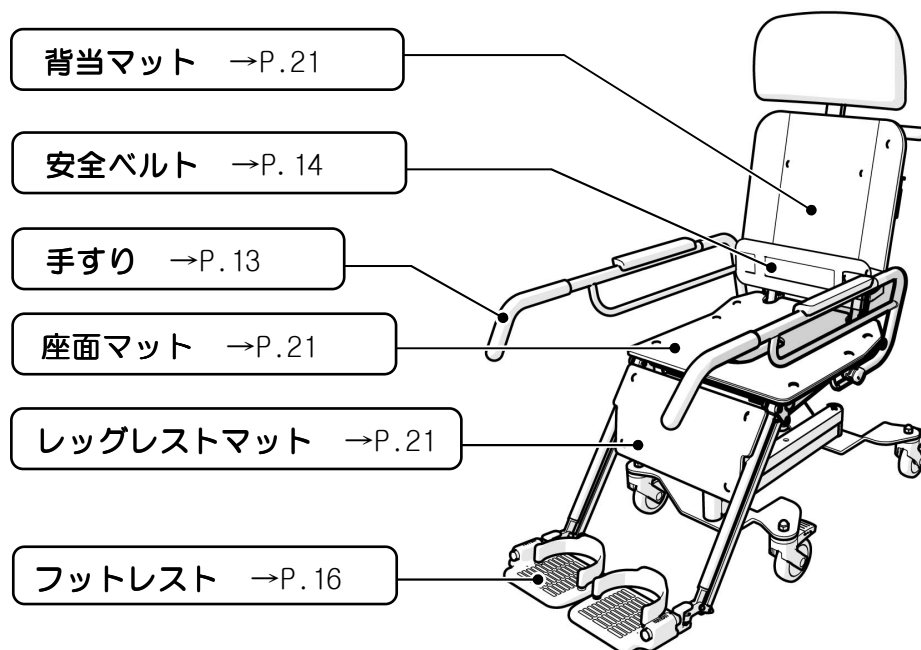
その他

⚠注意

塩素系の消毒剤、洗浄剤等を直接かけない
脱色、変色、破損の原因になる恐れがあります。

使用後は、換気を行い室内の湿度を下げる
湿気による錆やかびなどの発生を抑えます。

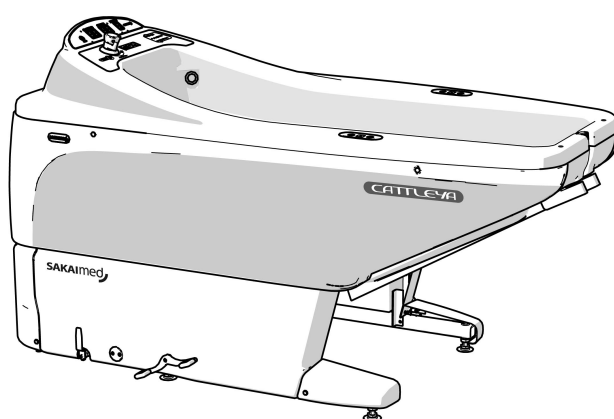
ご使用になる前に

各部の名称

ご使用になる前に

組み合わせ

本製品は、当社車椅子式入浴装置専用の車椅子です。
必ず専用の浴槽と組み合わせてご使用ください。

周辺装置

・カトレア　・・・・CTA-200

操作方法については、浴槽の取扱説明書をご覧ください。

ご使用になる前に

始業点検について

ご使用前に**始業点検項目**にもとづき、始業点検を実施してください。

①マットの破れはありませんか？

⑦車椅子は通常状態、チルト状態
を保持できますか？

⑨手すりに緩みやガタつき等
の異常はありませんか？

②安全ベルトにほつれ等の破損はありませんか？

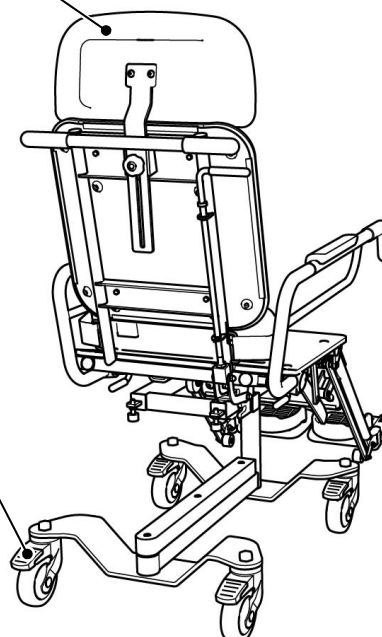
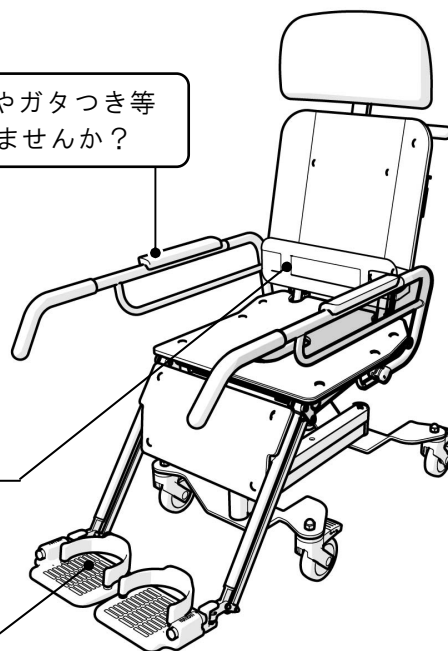
③安全ベルトのバックルに破損はありません

⑩フットレストに緩みやガタつき等の
異常はありませんか？

⑧ヘッドレストに緩みやガタつきはありませんか？
また高さ調節がスムーズに行えますか？

④キャスターに緩みやガタつき等の
異常はありませんか？

⑤直進・回転時にキャスターが
スムーズに動きますか？

⑥キャスターストッパーを踏み込んだ状態で
キャスターはしっかりロックされますか？

点検の際は、本ページをコピーしてご使用ください

始業点検チェックリスト：入浴用車椅子（BWC-100）　　　　**点検日　　年　　月　　日**

項目	点検内容	点検方法	チェック	備考
①	マットの破れ	目視	□ OK・□ NG	
②	安全ベルトの破損	ほつれや切れかかっているところがないか確認。	□ OK・□ NG	
③	バックルの破損	割れ等がないことを確認。	□ OK・□ NG	
④	キャスターの緩み、ガタつき、抜け出し、車輪の磨耗	目視 及び触って確認。	□ OK・□ NG	
⑤	キャスターの動き	直進、回転がスムーズに動くことを動かして確認。	□ OK・□ NG	
⑥	キャスターのロック	ロックした状態でタイヤが回転、旋回しないことを動かして確認。	□ OK・□ NG	
⑦	通常状態,チルト状態でのロック	チルト操作レバーがしっかりロックされている状態で、大きなガタつきが無いことを確認。	□ OK・□ NG	
⑧	ヘッドレストの緩み、 ガタつき、高さ調節	目視 及び触って確認。	□ OK・□ NG	
⑨	手すりの緩み・ガタつき	大きなガタつきが無いことを確認。	□ OK・□ NG	
⑩	フットレストの緩み･ガタつき	大きなガタつきが無いことを確認。	□ OK・□ NG	

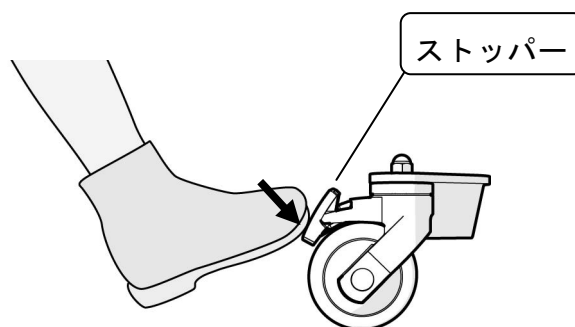
これ以外でも部品が破損しているなど、日頃お使いになられていたときとは違う異常を感じましたら、本製品を使用せずに、最寄りの営業所にご連絡ください。尚、故障中は故障した機器を誤って使用しないように、周囲の方が分かるように表示（故障中の貼り紙等）をお貼りください。

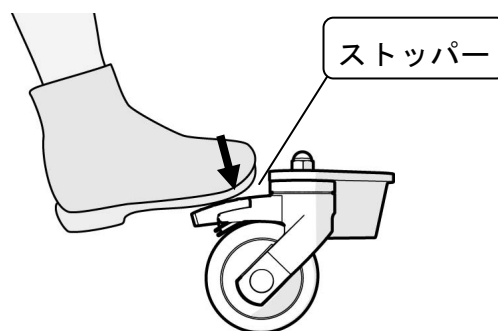
操作方法

キャスター

４輪全てにキャスターストッパーがついています。
移乗作業、洗髪・洗身作業、浴槽連結時、清拭作業時など入浴用車椅子上で作業をするときは、車椅子が動かないようにロックしてください。

ロック

キャスターストッパーを右図のように踏み込みます。

ロック解除

キャスターストッパーを右図のように踏み込みます。

 警告

- **停止しているときは、必ずキャスターをロックする**

  キャスターがロックされていないと、移乗・洗身・清拭時などに、車椅子が動いて入浴者が落下する恐れがあります。

- **傾斜のきつい浴室床面や排水溝蓋上に停止させない**

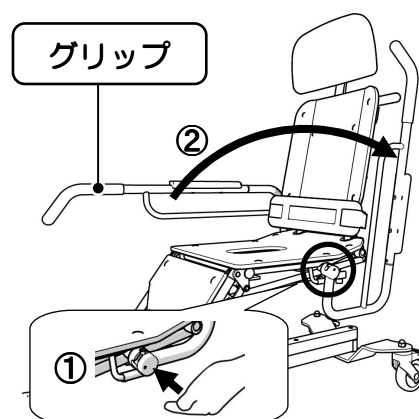
  キャスターが滑って車椅子が転倒し、入浴者が落下する恐れがあります。

操作方法

手すり

移乗などの際に、手すりが邪魔になるときには、手すりを跳ね上げることができます。

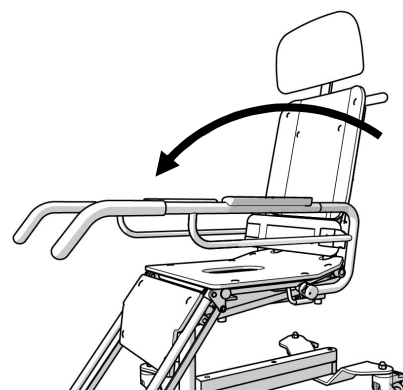
手すりを上げる

手すりの根元を押し込むとロックが解除されます。
押し込んだまま車椅子上方に回転させます。

手すりを下ろす

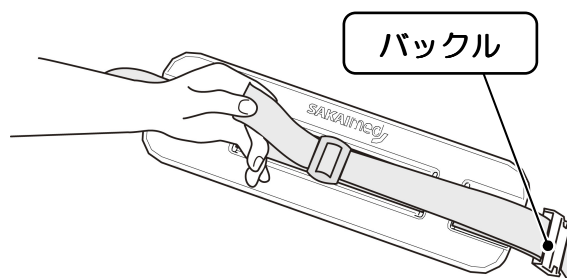
手すりを前方に回転させます。
根元から手を離して水平まで回転させるとロックされます。

⚠注意

・手すりを下ろす際は、入浴者の手や腕に注意

入浴者の手や腕が椅子の外に出た状態で手すりを下ろすと、手や腕を挟みこみ、入浴者が怪我をする恐れがあります。

操作方法

安全ベルト

入浴者の姿勢安定のために安全ベルトを備えています。
車椅子へ入浴者を移乗させたら安全ベルトのバックルをはめ、入浴者に合わせて長さを調節します。

バックル

警告

- **車椅子に乗せたら必ず手すりを握らせ、ひじを手すりの内側に入れ、安全ベルトを使用する**

  握っていないと上肢が車椅子の外側に出てけがをする恐れがあります。握れない入浴者の場合には、上肢を保持するベルトなどを用いるなどして、上肢が車椅子の外側に出ないようにしてください。
  ベルトをしなかったり、ベルトをゆるめ過ぎるなど固定が適切でないと、身体がずれて落下したり、ベルトの端面やバックルで擦れてけがをする恐れがあります。

- **安全ベルトを外したときには、入浴者のそばから絶対に離れない**

  移乗などのためにやむを得ず安全ベルトを外した場合、落下する恐れがありますので、とっさの対応が出来るように入浴者のそばから離れないでください。
  体位変換後や移乗後は直ぐに安全ベルトを再装着してください。

注意

- **皮膚の弱い入浴者の場合、接触部分にタオル等を使う**

  皮膚が薄くなり、弱くなっている入浴者の場合には、安全ベルトやマット等への軽微な擦れで皮膚が傷つく恐れがあります。入浴中や入浴後はさらに皮膚が柔らかくなって、けがをしやすくなりますので接触部分にタオル等を巻いてください。

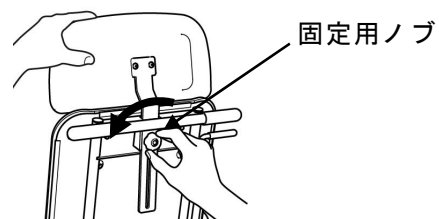
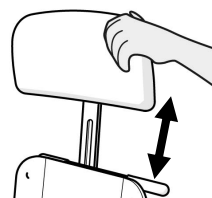
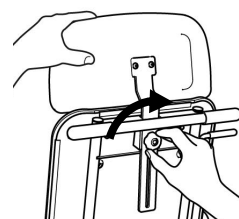
- **安全ベルト・バックルの損傷に注意する**

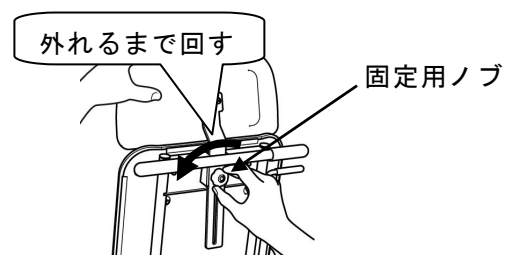
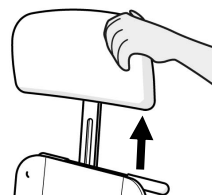
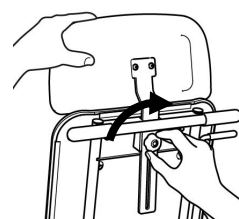
  安全ベルトの固定力が低下すると、入浴者が落下する恐れがあります。
  また、ほころびた部分や破損した部分で皮膚が傷つく場合があります。ほころび始めたり、破損しかかったりしたときは新しい安全ベルト・バックルと交換してください。

操作方法

ヘッドレスト

位置調節

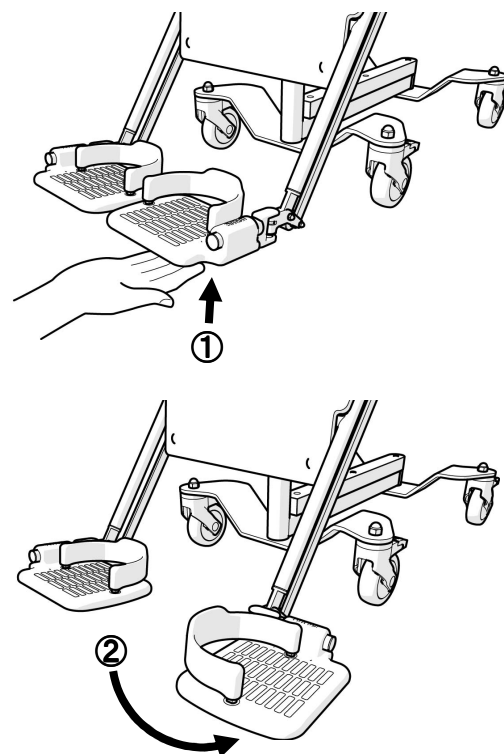
1. 背もたれ裏側の、固定用ノブをゆるめます。

2. 入浴者の頭の位置に合わせて、ヘッドレストの位置を調節します。

3. 位置を決めたら固定用ノブをしめ、ヘッドレストを固定します。

脱着

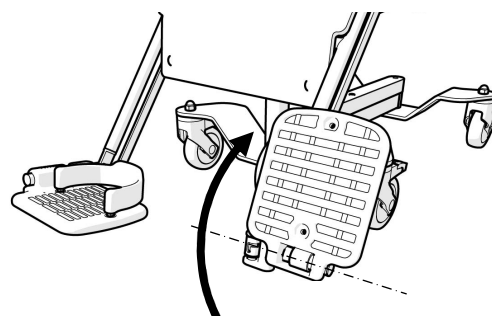
1. ノブが外れるまで回します。

2. ヘッドレストを取り外します。

3. 洗浄後は、ヘッドレストを差し込み、固定用ノブをしめて固定します。

操作方法

フットレスト

移乗時の足周りスペースを確保するために跳ね上げ・回転操作ができます。

回転する

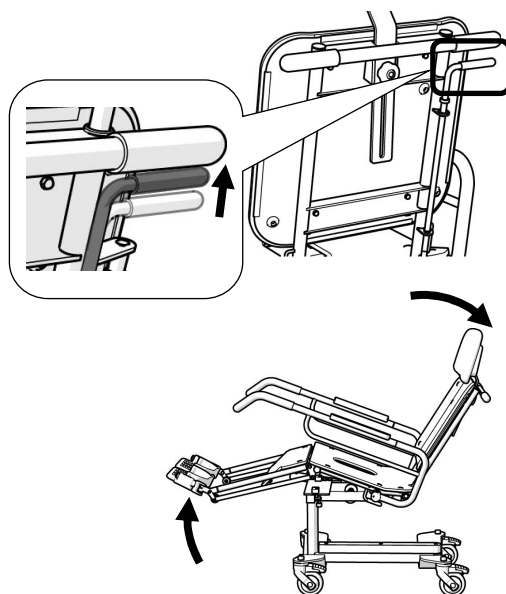
フットレストの根元を上に持ち上げて、
外側に 90°回転させます。

跳ね上げる

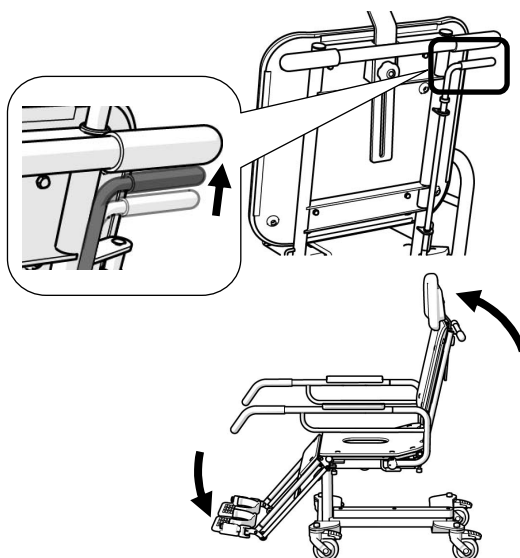
フットレストの先端を持ち、フットレストの
根元を中心にして上方向に 90°回転させて、
フットレストを跳ね上げます。

操作方法

チルト

車椅子をチルト状態にすることができます。

倒す

チルト操作レバーを引き上げるとロックが解除されます。
ロックが解除されたら、ゆっくり後方に倒します。
レバーから手を放し、チルト位置まで倒れると自動で
ロック状態になります。

起こす

チルト操作レバーを引き上げるとロックが解除されます。
ロックが解除されたら、車椅子上部を起こします。
レバーから手を放し、通常の位置まで起きると自動で
ロック状態になります。

 警告　チルト操作はゆっくりと行い、必ずロックを確認する

・勢いよくチルトを倒したり、起こしたりすると入浴者にショックをあたえる恐れがあります。
・チルトの操作中に手を離さないようにしてください。
・チルトを起こす際は、前傾し転倒する恐れがあります。

操作方法

入浴者を移乗させる

車椅子に移乗させる際には、落下やけがに十分注意して操作を行ってください。

1. キャスターストッパーをロックします。

平らで安全な床面に停止させキャスターストッパーをロックします。

チルトしている場合は起こした状態にしてください。

2. 手すりを跳ね上げ、フットレストを外側に開きます。

移乗する側の手すりをはね上げ、フットレストを外側に開きます。

側方から移乗する場合は、移乗する側の手すりを跳ね上げ、反対側の手すりは水平状態のままにして入浴者の転倒・落下に注意しながら移乗作業を行います。

3. 移乗させます。

前方からゆっくりと入浴者の臀部を座面に乗せます。

入浴者の転倒・落下に注意しながら移乗作業を行います。

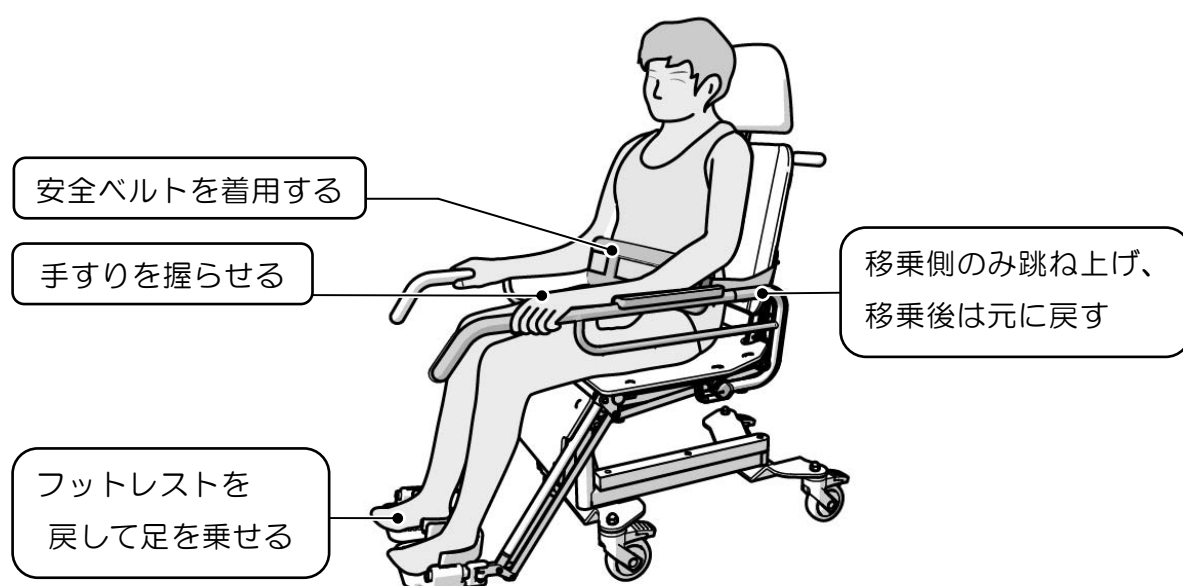
・入浴者の移乗の際は、座面奥に座らせる

・座面前側に座らせるとチルト時の操作力が大きくなり、操作が困難になります。

・入浴者の背中を車椅子の背もたれに当てるようにする

・前かがみ状態だと、チルト時の操作力が大きくなり、操作が困難になります。

4. 手すりを下ろし、フットレストを元に戻します。

移乗後は、安全のため必ず安全ベルトを着用して、手すりを下ろして握らせます。
フットレストを元に戻して足を乗せます。

 警告

・車椅子に乗せたら、必ず手すりを握らせ、ひじを手すりの内側に入れ、安全ベルトを使用する

・握っていないと上肢が車椅子の外側に出てけがをする恐れがあります。握れない入浴者の場合には上肢を保持するベルトなどを用いるなどして、上肢が車椅子の外側に出ないようにしてください。
・ベルトをしなかったり、ベルトをゆるめ過ぎるなど固定が適切でないと、身体がずれて落下したり、ベルトの端面やバックルで擦れてけがをする恐れがあります。

・安全ベルトの長さは入浴者に合わせ、適切な長さに調節する

ベルトがゆる過ぎるなど固定が適切でないと、身体がずれて落下したり、
ベルトの端面やバックルで擦れてけがをする恐れがあります。

・安全ベルトを外したときには、入浴者のそばから絶対に離れない

移乗などのためにやむを得ず安全ベルトを外した場合、落下する恐れがありますので、
とっさの対応が出来るように入浴者のそばから離れないでください。
体位変換後や移乗後は直ぐに安全ベルトを再装着してください。

操作方法

入浴用車椅子上で洗髪･洗身を行う

車椅子上で洗髪・洗身をする際は、落下やけがに十分注意して操作を行ってください。

1. キャスターのロックを掛けます。

平らで安全な床面に停止させキャスターのロックを掛けます。

2. チルトを起こします。

チルトを倒している場合は起こしてください。

3. 安全ベルトを着用させます。

安全ベルトは、少し余裕をもった長さに調節して、必ず着用してください。

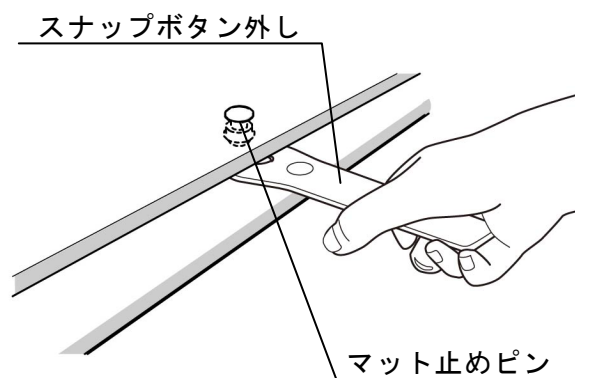
⚠ **警告　入浴車椅子上での洗髪･洗身作業中は転倒や落下に注意する**

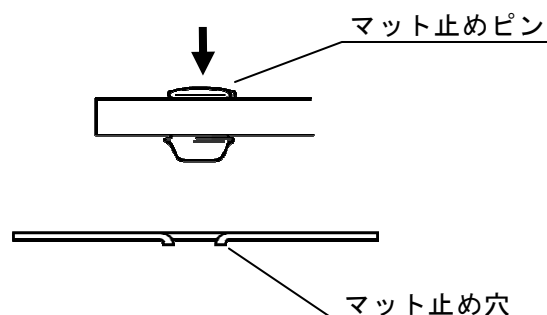
・狭い入浴用車椅子上での洗髪・洗身作業は入浴者の転倒や落下の恐れがあります。
・体位変換作業は、介助者の方向へ抱き寄せるようにして、入浴者の落下を介助者が体で防止しながら十分注意して作業を行ってください。
・頭部に無理な力をかけたり、足を持ち上げたりすると転倒や落下する恐れがあります。

日常のお手入れ

マットの着脱

外す

マットの端を軽く持ち上げ、付属のスナップボタン外しをマットの下に差し込むと
マット止めピンが外れます。

着ける

マットを背当・座面部分に乗せて、マット止め穴と
マット止めピンが合っていることを確認し、
マットの表面からマット止めピンを押して、
しっかり差し込みます。

 注意

- **マットの損傷に注意する**
  破れや、マット止めピンの破損がある場合は新しいものと交換してください。
  損傷により思わぬけがをする恐れがあります。
- **入浴作業前に全てのマット止めピンが確実に取り付けられていることを確認する**
  完全に取り付けられていないと、マット止めピンがマットから浮き出し、
  入浴者がけがをする恐れがあります。また、入浴中にマットが外れる恐れがあります。
  マットを固定できない場合は新しいものと交換してください。

日常のお手入れ

清掃

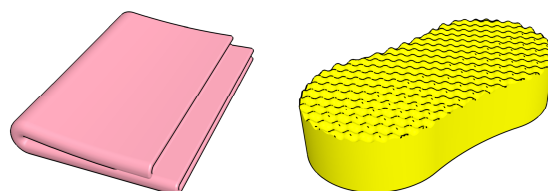
フレーム

1. やわらかい布または、やわらかいスポンジに浴室用中性洗剤を含ませ、フレーム等の汚れを落とします。

推奨品：酒井医療㈱「浴槽クリーナ A」

お願い

・中性洗剤をかけたまま放置しないでください。

・強くこすらないでください。キズの原因になります。

⚠ **注意**

・タワシやブラシは使わない

・研磨材がついたスポンジや、ネットに包まれたスポンジは使わない

2. フレームについている泡をシャワーで十分洗い流します。

お願い

・泡が残っているとカビが発生しやすくなります。

・お湯で洗い流した場合、最後は水で洗い流してください。

3. 乾いた布で水滴を軽く拭き取ります。

お願い

・水滴を残すと水垢などが残り、くすみの原因となります。

注意　使用後は、換気を行い浴室内の温度・湿度を下げる

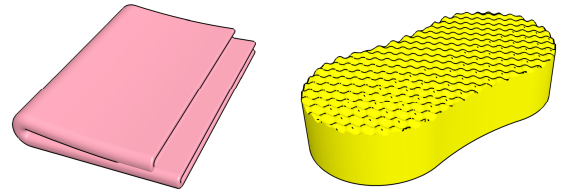
湿気による錆やかびなどの発生を抑えます。

日常のお手入れ／清掃

マット・安全ベルト

1. マット、安全ベルトを取り外します。
やわらかい布または、やわらかいスポンジに浴室用中性洗剤を含ませ、
汚れを落とします。
推奨品：酒井医療㈱「浴槽クリーナ A」

お願い
・中性洗剤をかけたまま放置しないでください。
・強くこすらないでください。キズの原因になります。

---

2. マット、ベルトについている泡をシャワーで十分洗い流します。

お願い
・泡が残っているとカビが発生しやすくなります。
・お湯で洗い流した場合、最後は水で洗い流してください。

 注意　マットは、高温による変形に注意する
高温（60℃以上）の湯で洗い流すと変形する恐れがあります。

---

3. 乾いた布で水滴を軽く拭き、マットは、表面に水が残らないように立てかけて、
日陰干しにて乾燥させます。

注意
・マットは日陰干しにて乾燥する
直射日光で乾燥させると劣化が早まります。
・使用後は、換気を行い浴室内の温度・湿度を下げる
湿気によるかびなどの発生を抑えます。

このようなときは

まずは次の内容を確認いただき、なお異常があるときは最寄りの営業所までご連絡ください。

	このようなときは	ここを確認してください	
キャスター	キャスターが動かない	●**キャスターストッパーが踏み込まれた状態になっていませんか？** →キャスターストッパーを上げて、キャスターのロックを解除してください。	P.12
キャスター	キャスターがロックできない	●**異物を挟み込んでいませんか？** →異物が無いかを確認し、解消できない場合は最寄りの営業所にご連絡ください。	
キャスター	車椅子が動いてしまう	●**キャスターストッパーが確実に踏み込まれていますか？** →キャスターストッパーを最後まで踏み込んで、キャスターをロックしてください。	P.12
手すり	手すりが上がらない	●**手すりの根元がしっかり押されていますか？** →手すりの根元を押し込んで、手すりを回転させて上げてください。	P.13
チルト	倒せない	●**チルト操作レバーがしっかり引き上げられていますか？** →チルト操作レバーをしっかり引き上げてからチルト操作を行ってください。	P.17
チルト	ロックされない	●**異物を挟み込んでいませんか？** →異物が無いかを確認し、解消できない場合は最寄りの営業所にご連絡ください。	
チルト	起こせない	●**チルト操作レバーがしっかり引き上げられていますか？** →チルト操作レバーをしっかり引き上げてから起す操作を行ってください。 また入浴者の体重でチルト操作レバーが上がりにくくなっている場合、一度チルトを倒す方向にハンドルを倒しながらチルト操作レバーを引き上げてください。	P.17
チルト	起こせない	●**入浴者の臀部が座面前側で前かがみになっていませんか？** →入浴者の位置を座面奥になるようにし、背中を背もたれに付いた状態にしてください	

このようなときは

このようなときは			ここを確認してください	
マット	マットが外れてしまう		●**マット止めピンが穴にしっかり差し込まれていますか？** →すべてのマット止めピンを完全に差し込んでください。	P.21
			●**マット止めピンが損傷していませんか？** →損傷している場合は、最寄りの営業所にご連絡ください。	

・その他、ご不明な点につきましては最寄りの営業所にご相談ください。

・ご使用中万一故障が発生したら、ただちに入浴者を安全な場所に退避させた後、使用を中止して最寄りの営業所へご連絡ください。

機器について

保守・点検について

・本製品を使用する際は、機器の管理者の方がP.10の始業点検（日常点検）及び定期点検（月1回程度）を必ず実施してください。
・長期間使用しなかった製品を使用再開する場合は、機器が正常に動作するか十分な点検を行ってください。
・点検時に異常が発見された場合は、製品の使用を中止して最寄りの弊社営業所までご連絡ください。
・清掃等の簡単な保守は機器の管理者等によって実施するようお願いいたします。

● 定期保守点検契約のお勧め

製品を長期間正常な状態で安全に使用できるように保証期間後の「保守点検契約」の締結をお勧めします。詳しくは別添の「保守点検契約のお勧め」をご覧になるか、最寄りの弊社営業所へお問い合わせください。

保証とアフターサービス

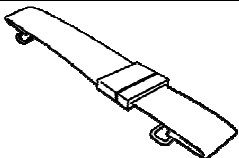
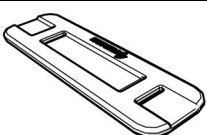
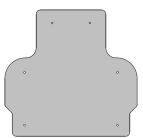
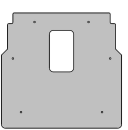
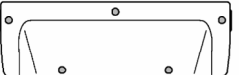
保証書と保証期間

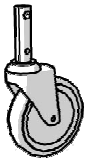
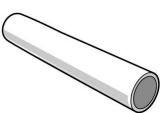
・保証書（別添）は再発行致しませんので紛失されないよう大切に保管してください。保証書がないと保証期間中でも有償修理とさせていただく場合があります。
・保証期間は1年です。但し本体フレームは5年間です。保証の規定につきましては保証書をご覧ください。

修理をご依頼いただく場合

・修理をご依頼いただく場合は、下記のことをお知らせください。

機種名　　：　*BWC-100*
お買い上げ：　　年　　月　　日
故障状況(できるだけ詳細に)
住所，氏名，電話番号

・メーカーより指示のあるとき以外は、機器を分解したりしないでください。

耐用期間

10年：保守点検などの当社推奨環境で使用された場合

機器について

損耗品（使用により、磨耗･劣化･変質等が生じ、本来の機能が発揮できなくなるもの）

・正常な使用において、交換の目安が**約２年**のもの。

ベルト	パッド	ヘッドレスト	マット止めピン

背当マット	座面マット	レッグレストマット	踵受け

・正常な使用において、交換の目安が**約３年**のもの。

キャスター	グリップカバー

損耗品の交換時期が来ましたら弊社営業所までご用命ください。
点検して必要により有償交換いたします。

保守用性能部品の保有期間

保守用性能部品の保有期間は、販売中止後 10 年です。ただし、性能部品が製造中止などにより入手不可能になった場合は、保有期間が短くなる場合もあります。

機器について

仕様

<table>
<tr><td colspan="2">型　　式</td><td>BWC-100</td></tr>
<tr><td rowspan="2">外形寸法
（L×W×H）</td><td>標準姿勢</td><td>1067×539×1130～1280mm</td></tr>
<tr><td>チルト時</td><td>1259～1297×539×1028～1165mm</td></tr>
<tr><td colspan="2">質　　量</td><td>約 49 kg</td></tr>
<tr><td colspan="2">使用可能体重</td><td>100 kg以下</td></tr>
<tr><td rowspan="6">材　　質</td><td>フレーム</td><td>ステンレス</td></tr>
<tr><td>手すり</td><td>ステンレス（グリップカバー付）</td></tr>
<tr><td>マット</td><td>プラスチック（EVA）</td></tr>
<tr><td>ヘッドレスト</td><td>プラスチック（ポリエチレン）</td></tr>
<tr><td>踵受け</td><td>プラスチック（ポリエチレン）</td></tr>
<tr><td>キャスター</td><td>プラスチック　φ100（4 輪ストッパー付）</td></tr>
<tr><td colspan="2">機　　能</td><td>手動チルト機構（水平より 58°）
跳ね上げ式手すり
高さ調整式ヘッドレスト（ノブ式）
回転式フットレスト（踵受け付）
安全ベルト（パッド付）</td></tr>
</table>

注．都合により予告なく仕様の変更を行う場合があります。